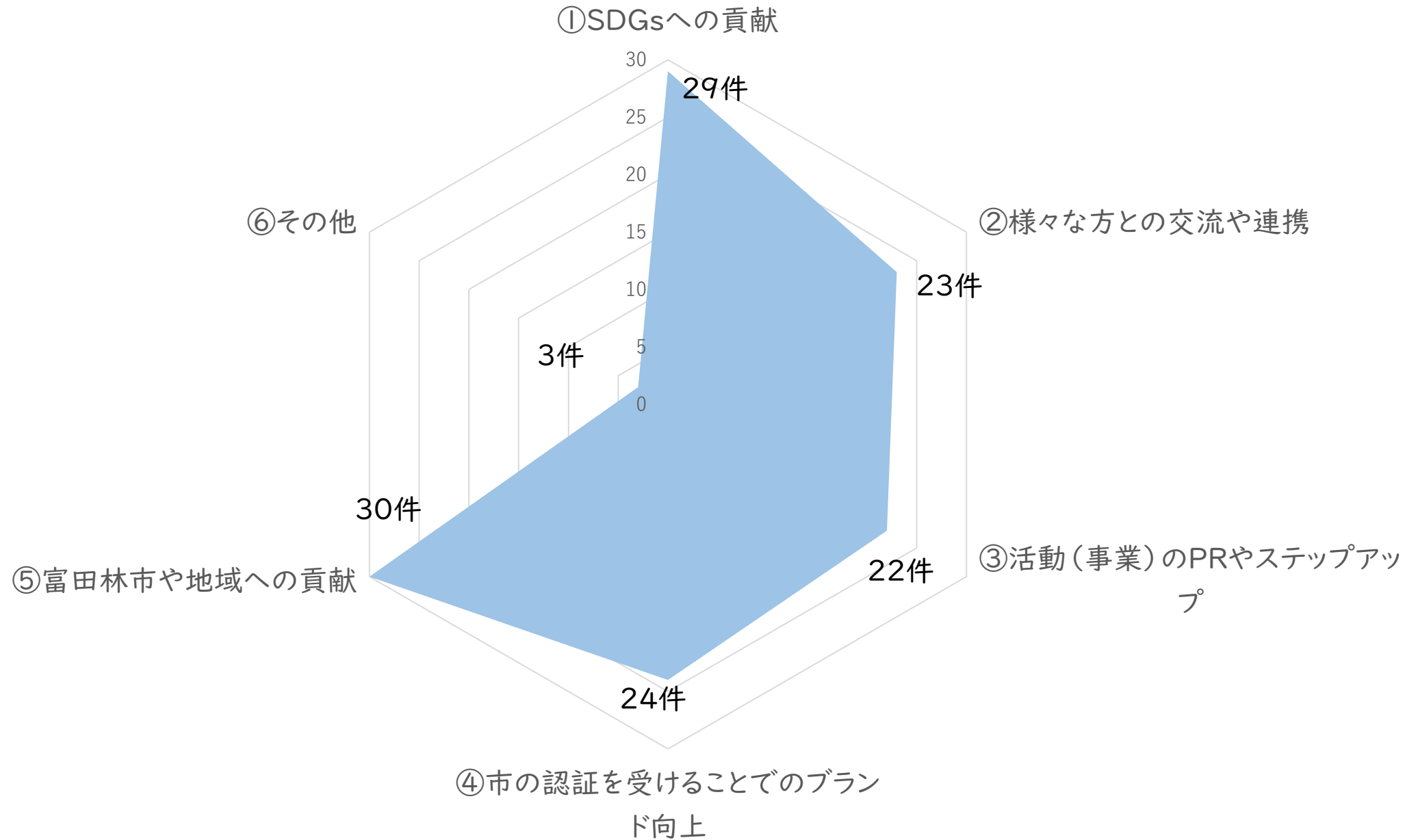
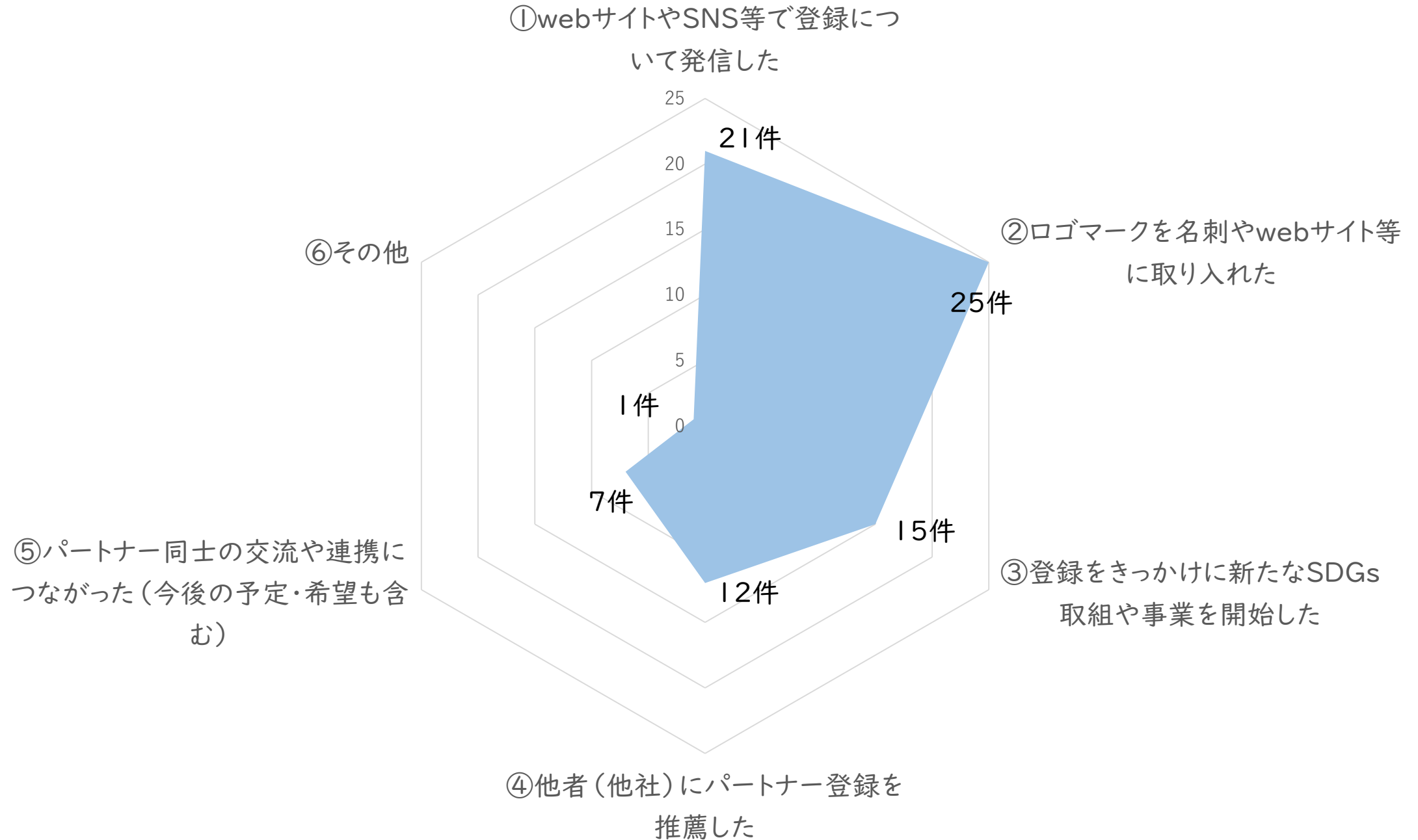


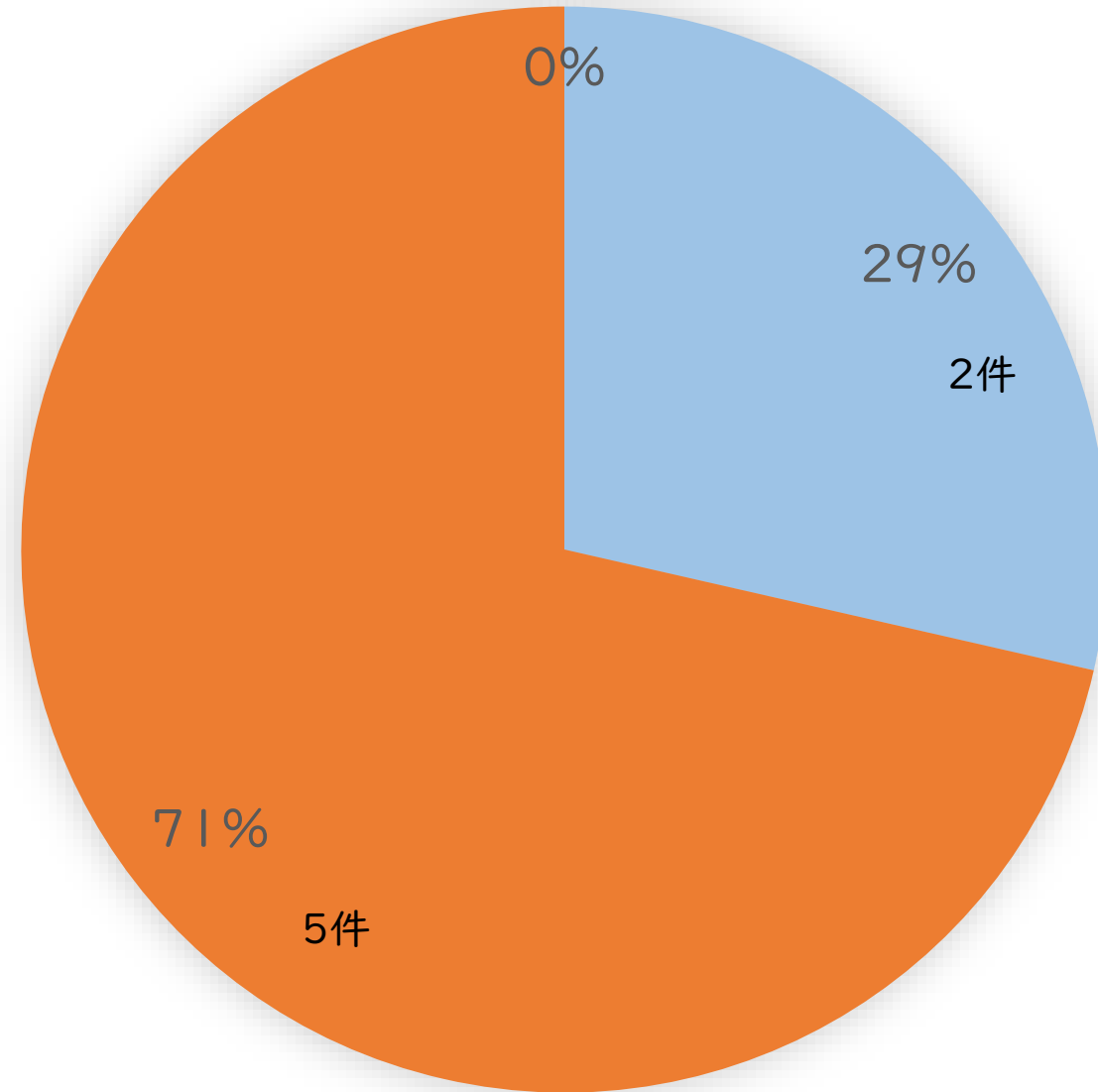
令和4年度 富田林市SDGsパートナーアンケート結果



Q2:SDGsパートナー登録後の活用状況



Q3:パートナー同士の連携・交流の状況

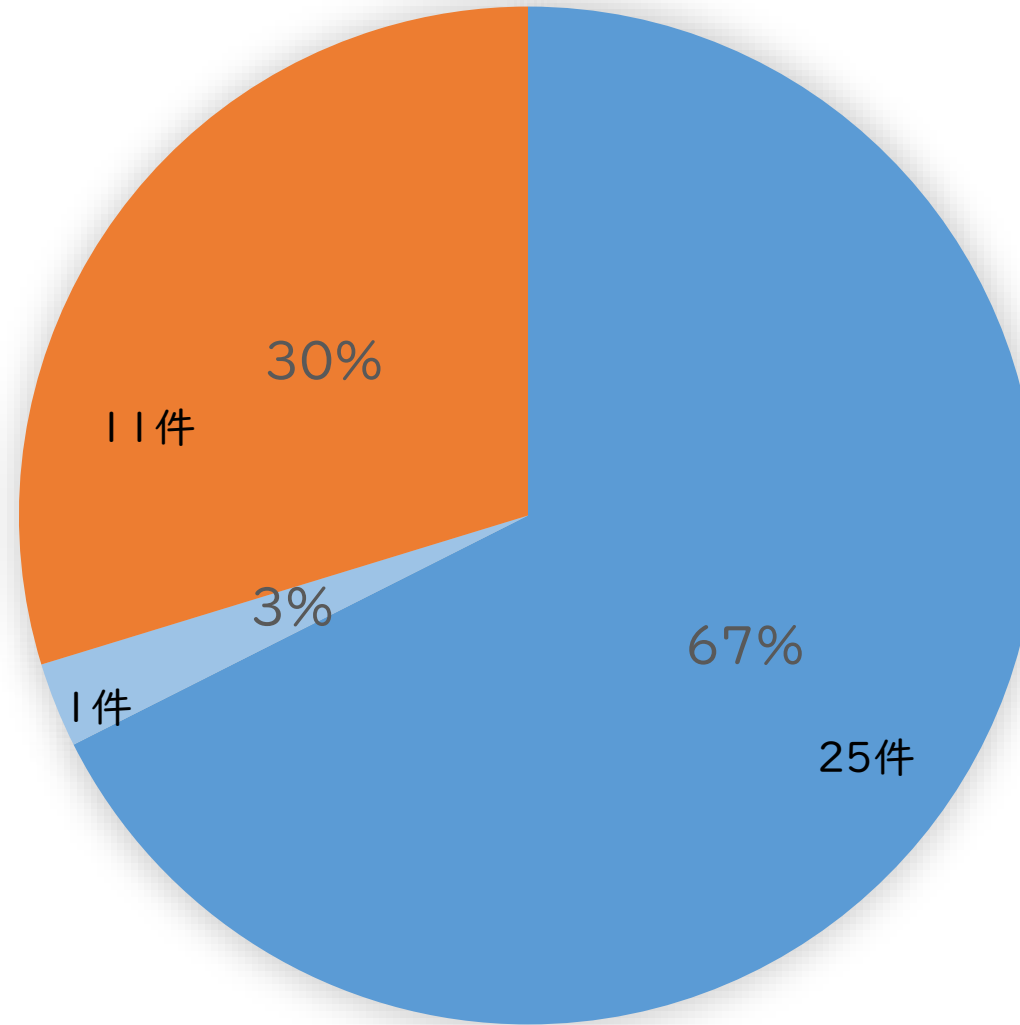


■ ①すでに実施し、完了している

■ ②すでに実施し、継続している

■ ③これから進めたいと企画・検討している

Q4:SDGsパートナーシップ制度に対する評価



- ①満足 (登録効果があった)
- ②不満足 (登録効果がない・期待していたものと違った)
- ③どちらでもない

Q4:SDGsパートナーシップ制度に対する評価(主な理由)

他県のSDGs活動企業から高評価を受けることが出来た。

提供されたロゴマークを名刺やチラシに取り入れたので、SDGsに取り組んでいることを告知できた。

SDGs宣言をするのに市も推進をしているのは助かる。

名刺を相手に見せた時に 興味を持って内容を聞いてきてもらえる。その際、弊社はこういう活動をしていますので、覚えておいてくださいね、と説明している。効果はあると思われる。

お客様への普及活動と、富田林市とのパートナーシップをPRできた。

大阪府でも数少ないSDGsモデル都市を取得し、SDGsパートナーシップ制度により、官民連携・民民連携を推進する取り組みにチャレンジされていることは富田林市民として誇らしく思います。

外的要因(富田林市にお願いしたり期待したり)という受身のものではないと思っています。主体的にどれだけSDGsを取り込めるかなので、登録が出来て、このような場があるだけで満足です。

SDGsの取り組みの公表にあたりSDGsロゴマークの使用はできないが、市から提供されたロゴマークにて、その代わりとできている。また、パートナーシップ参加をきっかけにSDGs取り組みの公表ができた。

名刺でロゴマークの活用をさせて頂いておりますが「なんですかこれは?」というところから、富田林市のSDGsの取り組みや、弊社の取り組みを説明する機会が得られています。純粋にロゴマークのクオリティも高いと思います。

名刺にロゴを入れることで、時代の変化に合わせてSDGsをやる企業という面で安心感を持ってもらっていると思うが、実際にそれが仕事や採用に繋がったということは今のところ感じられていない。そういった効果は将来的な話の可能性もあるので「現時点ではどちらでもない」を選択しました。

登録したばかりでまだ分からないというのが正直なところである(今後交流会などに参加することによって、つながりができると期待している)。

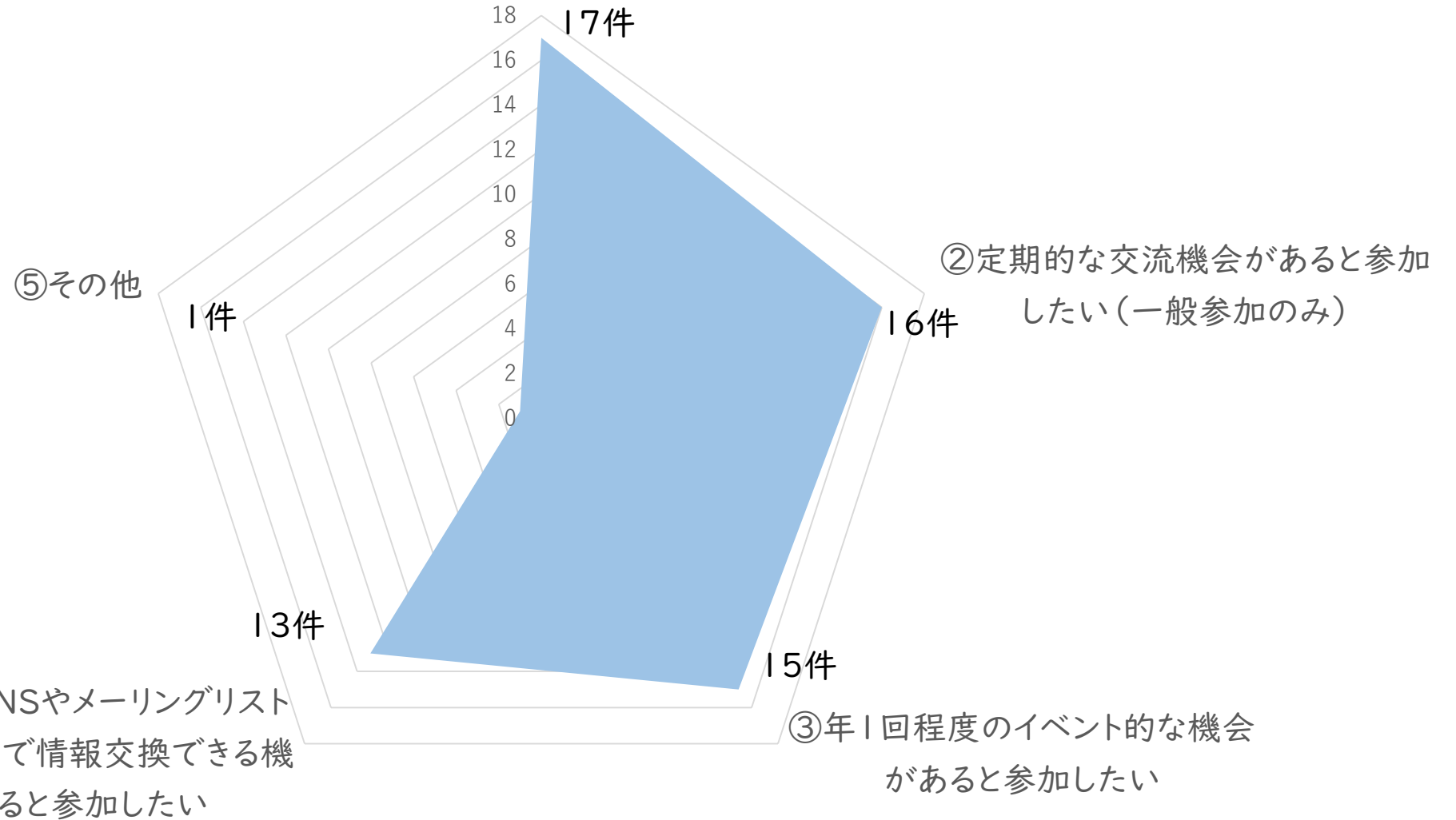
現状、SDGsに関しての認識や取り組みが定まっておらず、今後の活動をきっかけに評価へと繋げていきたい。

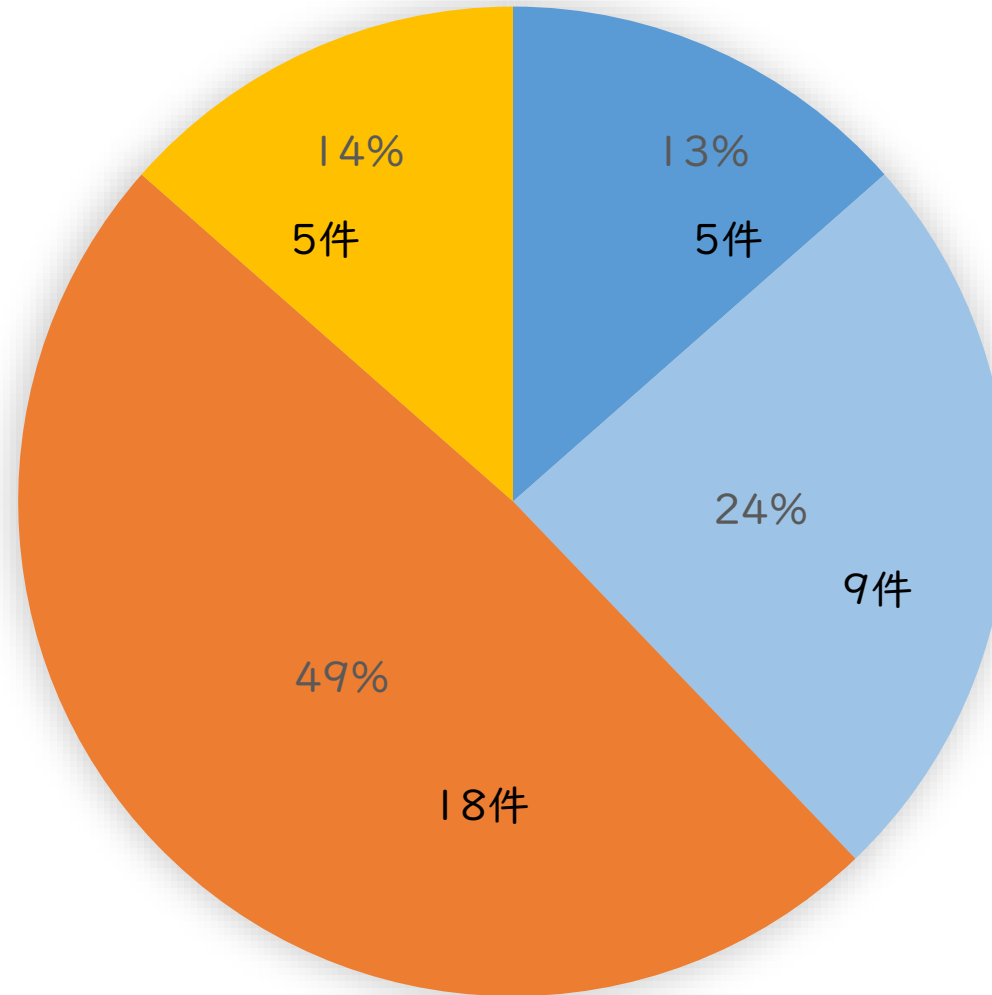
プロジェクトとしてまだ動き出せていない為、今後の展開に期待しています。

登録が知られていない。

Q5:パートナー同士がつながる機会について

①定期的な交流機会があると参加
したい(事務局としての参加も可)





- ① TEAM EXPOプログラム (万博共創チャレンジ) にすでに登録 (または申請) している。
- ② TEAM EXPOプログラムに興味があり、自身の事業・活動の中で何らかの形で関わっていきたいと思う。
- ③ 万博に興味はあるが、あまり知識がなく、関わり方が分からない。
- ④ 自身の取組とは関連がない・あまり関心がない。

Q7:本制度の活用も含め、今後、SDGsや地域で取り組みたい展望（主な回答）

富田林で生産した弊社の環境配慮型製品の認知や販売を広げたい。

地域性のある商品作りや地域性のある食育活動につなげたい。

障がい者差別解消の講演会や映画会。

総合的な学習の時間にSDGsを位置づけ、持続可能な開発目標を組み込んだ社会づくりについて、子どもたち自身が考え、行動できる機会を設けていきたいです。

登録されている団体と繋がっていくことができればうれしいです。

SDGsな〇〇マルシェ等、公園やホール会場を活用したイベント実施。

じないまちの活性化に向けて、取り組みをされている地域の方々と学生との連携を推進できたらと思っています。

地域の企業やお店の方々とコラボした健康イベントや、現在進行中の公民館での健康講座などを中心に、全ての人が充実した生活を送れるような取り組みを行っていききたい。

パートナー企業と協働できる取組みがあれば検討したい。

SDGsの精神『誰一人取り残さない』を言葉のみならず、日々の活動に実践していく具体的な内容を、日常的に行政と他の団体との連携の中で、研究し、実践に移していきたい。

新たな取り組みとして、11月より森林保全ボランティアへの参加を始めます。

弊社SDGsの取り組みを発信する地域のイベントを通じ発信したいと考えています。